

村上洋子 いきいきレポート



発行/稲城・生活者ネットワーク
発行責任者/村上洋子
Email:inagi@seikatsusha.net

〒206-0804 稲城市百村 1608-3-202
TEL・fax 042-379-2435
<http://murakamiyoko.seikatsusha.me> ⇒



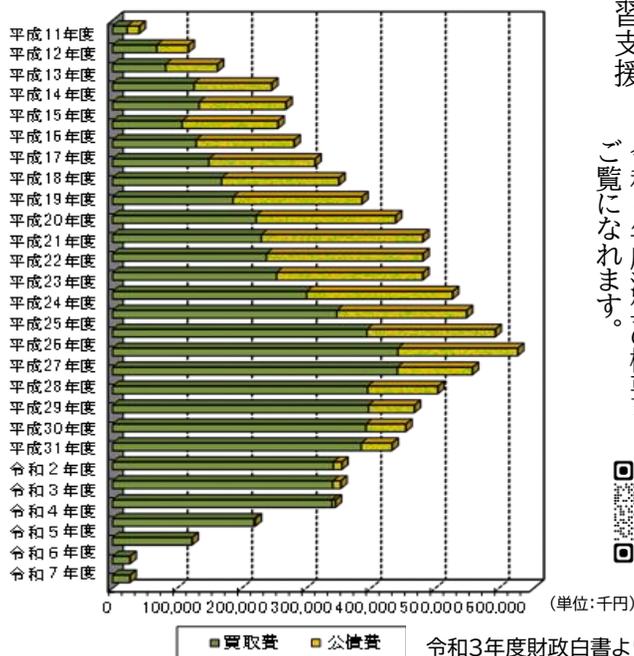
令和4年度決算を認定しました。

定をしました。会計について認
会計その他特別
一般会計、病院
し、令和4年度
こと等を評価
拡充が見られた
センター事業の
おやこ包括支援
きました。また
をすることがで
かなうなど成果
事業では希望す
る高校に進学が
し、ひとり親家庭の学習支援

施策の面では、予定された
事業をほぼ予定通りに遂行
し、ひとり親家庭の学習支援
事業では希望する
る高校に進学が
かなうなど成果
を出すことがで
きました。また
おやこ包括支援
センター事業の
拡充が見られた
こと等を評価
し、令和4年度
一般会計、病院
会計その他特別
会計について認
定をしました。

令和4年度は前年に引き
続き税収の落ち込みは見ら
れず、一般会計の歳入は39
1億8221万6千円、歳出
は367億6485万3千
円。約2億円を次年度へ繰越
し、実質収支22億1537
万1千円の黒字決算となり
ました。
電気ガス等の物価上昇や
他会計への繰り出しの増によ
り、**経常収支比率**は令和3
年度の88.3%から90.1%
と微増しましたが、他市にお
いても同様な傾向です。
基金現在高の総額は65
億1362万5千円と健全
な財政運営に備えています。
将来負担比率は、多摩ニ
ュートウン学校買取費の残高
の減などにより令和3年度
から10.1ポイント下がり、
平成25年以来の一桁台9.
4となり、世代間の公平性が
保たれた状況と言えます。

多摩ニュータウン学校買取費(一般財源)



※下記QRコードから
9月議会のすべての議案と
令和4年度決算の概要を
ご覧になれます。



●第50号議案 稲城市立病院使用条例の一部を改正する条例

稲城市立病院が「紹介受診重点医療機関」となったことから非紹介患者に係る初診加算料を7,000円(現行2,600円)とする等の改正ですが、激変となることから反対しました。結果は賛成多数で可決となりました。(令和6年2月1日から実施)

●第49号議案 満3歳未満保育認定子どものうち第2子の利用者負担額を0円とする改正が可決されました。

※お詫び この第49号議案において、賛成とすべきところ議案を取り違え
反対表明をしてしまいました。深くお詫び申し上げます。

<陳情>

- 健康保険証の存続を求める陳情に賛成→結果は不採択
- 稲城市議会の議場に国旗及び市旗の掲示を求める陳情に趣旨採択→趣旨採択

<一般会計補正予算(第4号)の概要>

- 出産・子育て応援事業 3,648万1千円
- 超音波検査の助成回数拡充(妊婦健診) 580万2千円
- 自転車ヘルメット購入補助金(上限2,000円、令和5年10月1日より) 223万円
- 予防接種健康被害給付金(新型コロナウィルスワクチン接種によって健康被害を受けた方への給付金支給の負担金) 100万8千円
- 国庫支出金等返還金 8億8,786万7千円
- 基金積立金 9億4,463万5千円

9月議会の主な議案

戦争と平和の記憶②

1歳半の娘と妻に車で見送られ父は出征しました。父の部隊はハルピンで1カ月足止めされすぐにシベリアに送られます。戦闘が無かったのは幸いでした。シベリアではソ連軍の兵站の倉庫管理のような仕事を充てがわれ、命を失うような重労働から免れたのです。その時のソ連軍の将校は女性だったそうです。父は1年ほどの抑留で日本に帰ってくる事ができましたが本場に運が良かったとしか言えません。一緒に帰ったシベリア仲間に、幼いころから知り合いで家も近所の戦友がいました。二人はお酒が入ると必ずシベリアの話になり、小学生の私は面白がって聞いていました。

父の実家はわりと大きな自作農で2町歩(約2ヘクタール)を10人ほどの大家族で営んでいました。父が4、5歳のころスペイン風邪で父の父親と祖父が相次いで亡くなってしまいました。父の母親は赤ん坊(父の弟)を連れて実家に戻り、父は祖母や叔父たちの中で育てられます。尋常小学校、高等小学校を終え農家の働き手となった父は町役場に勤めますが、二十歳の兵隊検査で合格すると満州開拓団に志願します。「満州に渡って馬賊になりました」と少年のころチャリと憧れた夢の話をしていましたが、本当のところは家に居ると叔父たちが迎えた2歳年下の婿養子の邪魔になるだろうと考えての事でした。初恋の人が病気で亡くなってしまったことも影響しているのかもしれませんが。(次回に続く)

郵便はがき
料金受取人払郵便
多摩局承認
2226
差出有効期間
2025年3月31日まで(切手不要)
稲城市百村1608-3-202
稲城・生活者ネットワーク
村上洋子 行

ふりがな
お名前
ご住所
ご連絡先(電話 or メールアドレス)
年代 10代・20代・30代・40代・50代
60代・70代・80代・90代以上

よろしければご記入ください。

村上洋子の一般質問



水道水以外の地下水におけるPFASの調査について

東京都環境局が地下水検査項目にPFASも加えたが(令和2年より)調査は各自治体年間1カ所のみであり、都議会や東京都市長会からも迅速な対応の要望が出ています。稲城市としても地下水・湧水のPFAS検査を促進し、費用を国や都に求めるべきと要望しました。(市内対象井戸64か所)

稲城市の小児の休日・夜間診療について

情報をわかりやすく伝えて欲しいと質問しました。自宅に往診する「ファストドクター」などの利用状況についても注視していくよう求めました。

救急の電話相談は

市のHPのトップページ左上

「いきいきとうきのため」に

夜間診療↓電話相談へ

▼#7119 (東京消防庁)

▼042-377-7119

(稲城消防署)

※稲城消防署では県境の当市の実情に合わせて川崎市などの情報もカバーしています。

HPの「健康カレンダー」(令和5年4月発行)や「2023いなぎ子育てブック」は情報がまとまっていて見やすくなっています。

「2023いなぎ子育てブック」



「稲城市学校給食アンケート」の結果と今後の取り組みについて

アンケートの結果を活かし、子ども参加で改善に取り組んでほしいと要望したところ、「どうしたらおいしく食べられるか等、児童・生徒からのアイデアを取り入れたり、また児童・生徒が考えた献立を提供するといった取り組みなど、今後検討してまいります。」と前向きな回答をいただきました!

給食を残す理由は「苦手なものがある」「時間がない」が多くなっています。子ども参加の取り組みに期待するとともに、「時間がない」については全国的に課題とされていることから、教育委員会全体での検討を求めました。

「学校給食アンケート報告書」



オーガニック給食アンケートへのご協力ありがとうございました。

学校や保育園、幼稚園の給食がオーガニック給食になったらいいね! の声をたくさん頂いております。保育園からは食育についての回答も頂きました!

市内の保育園・幼稚園は自園で畑を所有されているところも多く、園児が土に触れ、野菜や畑の生き物と触れるなど稲城ならではの保育をされていて素晴らしいです!

学校給食は、市内産だけで給食の全量を賄えるほど量が確保できないことが課題ですが、できるだけ市内の野菜を、できるだけオーガニックのものを使って欲しいと考え、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

自分たちでもオーガニック野菜をつくってみよう! と私も畑づくりのサークルに参加しています。興味のある方はお声掛けください!

10月末 令和6年度予算に対する要望

を提出します。

市政に対する要望をお聞かせください!

➡ 右の QR コードからもお寄せいただけます



▼ご自由にお書きください。

▼あなたの関心ある分野は何ですか?

いくつでも○をつけてください。

教育・福祉・市民活動・環境・ゴミ・農業

商業・まちづくり(道路や区画整理)

まちのにぎわい(商店街、駅前開発、観光)

その他

()

村上洋子 と おしゃべりタイム

日時: 10月14日(土) 14時~15時位

会場: こんぺいとう ROOM

(稲城駅近く、旧イナキッチンの上のサンコーポ202)

Google meet 併用 meet.google.com/djj-wrvo-rqa

9月議会の報告も致します。 どうぞご参加ください。

